

今月の特集関連本 ②



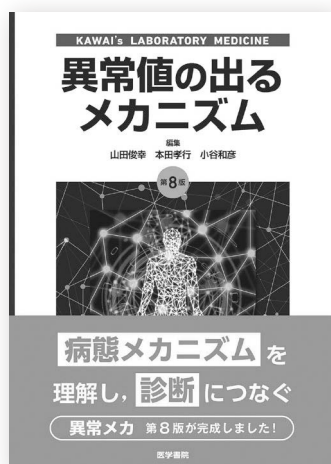
糖尿病・内分泌疾患の常識＆非常識

岩岡秀明、中山久仁子＝著

定価 4,180 円／A5 判・260 頁／医学書院／2024

本特集企画者の岩岡先生の書籍です！

昔の常識のままでは、あっという間に非常識な診療になっているかもしれない。糖尿病・高尿酸血症・内分泌疾患の現在の常識＆非常識をスペシャリストとジェネラリストの Q&A 形式でわかりやすく解説。特に重要なポイントは各項の冒頭で「常識」としてまとめ、いまや非常識になっていることは本文中に「非常識」マークを付した。ジェネラリストのさまざまな疑問を岩岡先生に聞いてみよう！



異常値の出るメカニズム

第 8 版

山田俊幸、本田孝行、小谷和彦＝編

定価 6,820 円／B5 判・352 頁／医学書院／2024

おなじみ“異常メカ”の第 8 版。検査値が異常になるメカニズムの理解に焦点をあてた臨床検査の教科書。日常診療で広く使われる検査や、患者に負担の少ない検査から得られる医療情報を資源として病態の実情をとらえ、診療に活かす方策に到達するための知識と考え方を提供する。第 8 版では、基本的検査と二次的検査の線引きを排し順序や解説量でメリハリをつけ、ページを増量した。医学生、研修医だけでなく、臨床検査技師、生涯学習を続ける医療関係職向けの 1 冊。



内科診断学

第 4 版

福井次矢、奈良信雄、松村正巳＝編

定価 11,000 円／B5 判・1104 頁／医学書院／2024

内科診断学の定番テキストの第 4 版。「Ⅰ 診断の考え方」「Ⅱ 診察の進め方」「Ⅲ 症候・病態編」「Ⅳ 症例編」の 4 部構成で、好評のⅢ章は項目数を増やし、医学生・研修医が押さえておきたい症候・病態を網羅した。また、Ⅳ章は 26 症例から 107 症例に増やし、具体的な症例を通した学びがますます充実した。本文オールカラー、豊富な図表とともに、症候から診断に至るまでの思考プロセスをわかりやすく丁寧に解説。マルチデバイスで閲覧可能な「付録電子版」付。